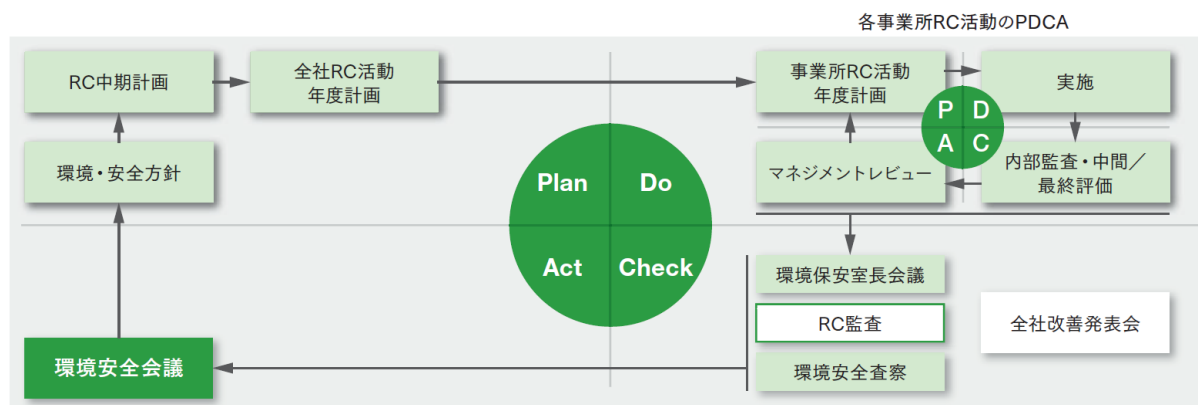


レスポンスブル・ケア関連データ

レスポンスブル・ケア（RC）活動のPDCA | レスポンスブル・ケア推進体制 | 安全性評価と製品情報提供の流れ
レスポンスブル・ケア中期計画2026

レスポンスブル・ケア（RC）活動のPDCA



レスポンスブル・ケア（RC）推進体制

環境安全会議は、社長を議長として、取締役、監査役、研究統括部門担当、グリーン・エネルギー & ケミカル事業部門担当、機能化学品事業部門担当、事業所長、生産技術部長、原料物流部長及び、社長が指名する者で構成され、環境・安全方針、レスポンスブル中期計画及び年度計画、実施状況、レスポンスブル・ケアに関する重要事項、監査結果等の報告と審議を行います。

安全性評価と製品情報提供の流れ



レスポンス・ケア中期計画2026（2024年～2026年）

活動コード	中期計画（MGCグループ* ¹ ）
労働安全衛生	○ MGCグループ会社と協力会社の労働災害撲滅を目指す。労働安全衛生に影響する様々な要素を評価・見える化し、網羅的な改善対策への土台を構築する。 【2026年度までの労働安全衛生の定量的目標】 (1)重大労働災害*² 0件 (2)MGCグループ 休業災害、通院3回以上の不休災害 0件 (3)MGC協力会社 度数率0.3以下 強度率0.003以下 (4)国内MGCグループ協力会社 労働災害の定量目標化の検討
保安防災	○ 事故ゼロの達成を目指す。保安防災に影響する様々な要素を評価・見える化し、網羅的な改善対策への土台を構築する。 【2026年度までの保安防災の定量目標】 (1)重大事故*³ 0件 (2)ICCAスコア年間 0（MGCグループ・協力会社）
環境保全	○ 企業活動を通じて社会貢献と自然環境の保全の両立を目指す。その結果社会からの評価の向上を得る。 【2026年度までの環境保全の定性/定量目標】 (1)2026年度GHG排出量 2013年度比 33%削減（MGCグループ） 2026年度 対基準年省エネルギー改善率 3.0%（MGCグループ） (2)廃棄物のゼロエミッション 廃棄物ゼロエミッション率*⁴ 1.2%以下（国内MGCグループ） 廃棄物ゼロエミッション率*⁴ 0.2%以下（MGC） (3)2026年度「廃プラスチック類」排出量 2023年度比10%削減（MGC） (4)水資源保全 水再利用率 95%以上（MGC） (5)生物多様性保全 生物多様性の「目に見える現場」の設置取組み推進（MGC）
化学品・製品安全	○ 化学品・製品の性状と取り扱い方法を明確にし、全ての取扱者の安全と健康、環境を守る。製品開発における安全評価、取り扱う製品のリスク評価と管理、各国の化学品管理法規・規制に対して確実な実施・対応を行う。 【2026年度までの化学品・製品安全の定性/定量目標】 (1)製品開発における安全評価の段階的な実施（継続） 新規製品の上市・市場開拓の審査 100%（製品数%） (2)各国の化学物質管理法規に基づく申請・登録の確実な実施（継続） 各国の化学物質管理における物質登録 100%（製品数%） (3)安全性情報（SDS）の確実な伝達 安全性情報（SDS）の作成と交付 100%（製品数%） (4)各国の化学物質管理法規及び規格等改正への対応
物流安全	○ 物流事故、トラブルの撲滅を目指す。 (1)事業所内物流トラブルの解析と水平展開の継続 (2)グループ会社物流部門との物流安全情報共有化 (3)届け先荷役作業状況の解析と改善
社会との対話	○ ステークホルダーからの評価向上を獲得し、信頼醸成を目指す。
RC全般	○ MGCグループ一体での環境安全活動推進を目指す。 グループ内コミュニケーションを充実し、労働安全・保安防災・環境経営の推進を図る。 ○ RC管理システムの継続的な改善を図る。

*1 MGCと連結子会社

*2 休業災害であって、死亡災害、永久労働不能災害を伴うなど障害補償の対象となった又はその可能性のある障害、休業日数が4日以上であるもの

*3 地域に係る環境汚染や地域住民が被災するなど第三者に脅威を与える事故、重大労災を伴う事故

*4 廃棄物ゼロエミッション率：最終処分量/廃棄物発生量